

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	座間(H27)立体駐車場新設建築工事(B棟)	階数	地上2F
建設地	座間市入谷字明王谷5962番 外	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	450 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,670 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年9月1日
敷地面積	4,505 m <sup>2</sup>	作成者	㈱浅沼組
建築面積	1,227 m <sup>2</sup>	確認日	2015年9月14日
延床面積	2,142 m <sup>2</sup>	確認者	㈱浅沼組

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 87%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
自衛官及びその家族の為に立体駐車場である。周囲の環境に配慮し、緑地をできるだけ多く設けた配置計画とする。また出入口付近廻りを配慮した計画とする。		
<b>Q1 室内環境</b> 自走式立体駐車場の機能を損なわない室内環境とする。	<b>Q2 サービス性能</b> 使いやすさ、安全性、及び維持管理に配慮した計画とする。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地面積の約35%を緑地に設置し、周囲の環境に配慮した計画とする。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明の制御は自動点滅とし、開放性を確保した自走式立体駐車場のため、換気、空調機器を設置しない計画である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない材料の使用をおこなう。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物周囲及び道路周囲の空地に樹木を植栽し、可能な限り緑化を図る。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される